

クリエイティヴ・

C R E A T I V E

ダンチ・

D A N C H I

サミット!

S U M M I T

面白く生きるなら、**団地**でしょ。

団地で動くときの「カベ」と「面白さ」。
新しいコミュニティをつくるヒト・モノ・カネ etc.
活動マネジメントの frontline と本音をシェア!

団地が変われば、『郊外』が変わる?

「郊外」の団地の面白い取り組みが一堂に集合、
建築・アート・社会学から郊外の可能性を探ります。

サミット
[資料代]
500
yen

サミット開催日時

2013年2月23日 [sat.] 14:00-18:00

展示会期

2013年2月16日 [sat.]-24日 [sun.] 10:00-19:00 無料

会場

とりでアートギャラリーきらり

(茨城県取手市新町2-1-31・取手駅西口から直結・徒歩1分)

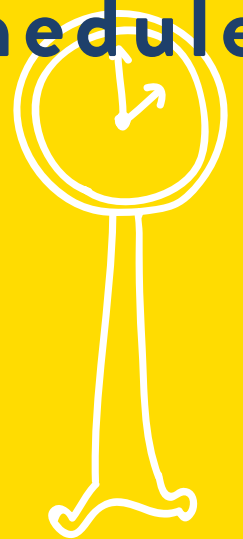
三浦展・馬場正尊・森司が



現場の人びととどっぴりオープントーク

Time Schedule

タイムスケジュール



サミットは
午後2時開始!

SUMMIT TALKS Start
オープニング

14:00

KEY NOTE SPEECH:
基調講演

14:15

「三浦展的郊外観察」
——社会学から団地を覗く——

「郊外」研究から若者論・消費論まで
さまざまな世代の行動考察を行なう
三浦展氏が、首都圏郊外の街並
そして団地の可能性について語ります。
現代社会を暮らす人びとを眺めてきた
社会観察眼が吸い上げる、郊外都市の、
そして団地のリソースとは？

14:45

ROUND TABLE part1:
ケーススタディ・プレゼンテーション×
オープンディスカッション

5組のケーススタディプレゼンターと
三浦展氏と森がとことん掘り下げる、
団地の取り組み裏表。
データシートと本音トークをもとに、
団地での活動のエレメントを探ります。

17:30

ROUND TABLE part2:
サマリートーク

3名のチェアマンならぬシェアマンによる
郊外の団地の可能性、提言トーク！

18:00

SUMMIT TALKS Close
クロージング

Guest & Host

三浦展 カルチャースタディーズ研究所主宰
消費社会研究家/マーケティングアナリスト



MIURA ATSUSHI

1958年生まれ。82年、一橋大学社会学部卒業。(株)パルコ
入社。マーケティング情報誌『アクロス』編集室勤務。86年、
同誌編集長。90年、三菱総合研究所入社。99年、「カルチャー
スタディーズ研究所」設立。消費社会、家族、若者、階層、
都市などの研究を踏まえ、新しい時代を予測し、社会デザ
インを提案している。著書に『下流社会』『第四の消費 つ
なかりを生み出す社会』『ファスト風土化する日本』など。

馬場正尊 ダンチ・イノベーターズ! 作戦総指揮
株式会社OpenA 代表/建築家



BABA MASATAKA

1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科学修
了。博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、
2002年OpenAを設立。都市の空気を発見するサイト「東京
R不動産」を運営。東京のイーストサイド、日本橋や神田の空
きビルを時限的にギャラリーにするイベント、CET (Central
East Tokyo) のディレクターなども務め、建築設計を基軸
にしながら、メディアや不動産などを横断しながら活動し
ている。

森司 東京アートポイント計画ディレクター
取手アートプロジェクト実施副本部長



MORI TSUKASA

1960年愛知県生まれ。公益財団法人東京都歴史文化財団 東京
文化発信プロジェクト室地域文化交流推進担当課長。水戸
芸術館現代美術センター主任学芸員を経て、東京アート
ポイント計画の立ち上げから関わり、ディレクターとして
NPO等と協働したアートプロジェクトの企画運営、人材育
成プログラムを手がける。2012年7月より「Art Support
Tohoku - Tokyo (東京都による芸術文化を活用する被災地
支援事業)」のディレクターも務める。

三浦展・馬場正尊・森司が

現場の人びととどっぷりオープントーク

Case study

首都圏郊外の団地から、 5組のプレゼンターが集合!

居間が、家から飛び出し街の中に開かれた。
リビングルーム・プロジェクト
埼玉県北本市北本団地ほか **北澤潤**



URL:
http://www.livingroom-junkitarawa.com/

《リビングルーム》は、空き店舗に地域の不要家具
を配置し住民同士が物々交換しあうことで街なか
に「ひらかれた居間」を生み出すアートプロジェ
クトです。家々の内部にあるはずである居間の風
景を、空き店舗という異質な場所でひらくこと
によって、ありふれた日常について振り返る瞬間と、
新しいコミュニケーションが生まれる場を創出しま
す。2010年に埼玉県北本市の北本団地ではじまり、
徳島県やネパール連邦民主共和国など国内外各地
に展開中。

団地の一角でこっそり劇的な風景が。

取手アートプロジェクト アートのある団地
茨城県取手市井野団地ほか **羽原康恵**



URL:
http://www.toride-ap-art-jp/danchi/

“不特定多数に向けてではなく「ひとり対ひとり」
の関係に基づくプロジェクトを、多様な価値観を
持った人びとが暮らす「団地」で仕掛けてみる。
”そのコンセプトを起点に「アートのある団地」
も活動3年目。さまざまな人が支える拠点が生ま
れ、パートナー・アーティストとそれを面白がる
人びとによる活動が立ち上がっています。団地を
変える実践型クリエイティブコアを目指すダン
チ・イノベーターズ!も奔走中!

コミュニティの多様な課題に寄り添う。
NPO法人 ちば地域再生リサーチ
千葉県千葉市美浜区高洲団地ほか **東秋沙**



URL:
http://cr3.jp

長期的・持続的・総合的な視点に立ち、暮らしの
ニーズに対応するコミュニティ・ビジネスおよび
市民独自の活動を行なっています。①住まいのリ
ベア・リフォームサポートなどのコミュニティ・
ビジネス、②団地の生活と文化のサポートとして
宅配、団地学校やコミュニティ・アート育成など
の市民コミュニティ・ビジネス、③団地建替・改
善整備や再生(住まい町再生サポート)の建築・
都市計画の専門コンサル事業を、3大ミッションと
しています。

3人の若者が住む場所として団地を選ぶ。

ロクナナ団地
千葉県松戸市小金原団地 **吉岡龍一**



URL:
http://www.6-7danchi.com

都会暮らしでも田舎暮らしでもない、「地域暮らし」
を実践したい3人でシェアハウスをしています。
僕たちの考える「地域暮らし」とは、日々の暮ら
しの中でその地域に自分が「いる」という自覚や
感覚を持てるような生き方です。団地は地域コ
ミュニティがしっかりしている場所です。しかし
そんな団地に高齢化の波が押し寄せ、ご近所さん
は高齢者ばかりです。ぼくら若い力で、再び団地
が元気になる、みんながその地域に「いる」という
感覚を持ってもらえるような活動をしていきます。

今日も赤い自転車が颯爽と通りを走る。

村山団地 まいど〜宅配
東京都武蔵村山市村山団地 **比留間誠一**



URL:
http://www.murayama-oi.jp/maidocenter/gaiyo.html

都営村山団地を走る、赤と黄色のカラフルな送迎
自転車「まいど〜宅配 中央商店街行」。都営村山
団地に暮らす約4,000世帯のうち、約45%を占
める高齢者の無料の足として運営しています。村
山団地中央商店街の空き店舗に「まいど〜宅配セ
ンターおかねづかステーション」を開き、拠点と
して利用。客足が減っていた商店街と団地の各戸
をつなぐこの送迎事業は商店街に活気を呼び戻
し、かつ高齢者の見守り機能も果たしています。



E X H I B I T I O N 1

ケーススタディ・フォトドキュメント

ケーススタディを活動記録写真で紹介。
ここでしか手に入らない活動を知るためのハンドアウトを片手に、
郊外都市の「団地」から社会を面白く変える術を考えませんか。



E X H I B I T I O N 2

団地オモシロアイデアウォール by 団地R不動産

全国の魅力的な団地を紹介するサイト「団地R不動産」。
そのメンバーが「団地に住もう！東京R不動産（発行：日経BP社）」という本で考えた、
団地を面白くするプチアイデア。
「家出用住戸」「団地オリンピック」「給水塔温泉」！？
くだらないアイデアから、これは欲しいかも！と思えるグッドアイデアまで、
ちょっとしたひらめきが団地を変えるかもしれません！
団地のオモシロアイデアを団地R不動産と一緒に考えてみませんか？

コーディネーター：団地R不動産
<http://www.realdanchiestate.jp/>



Exhibition

エキシビション

サミットに
参加できない方は
展示へ！
2月16日から
24日まで！



E X H I B I T I O N 3

団地偏愛型ライブラリー！ by 大山顕

団地をこよなく愛し研究する住宅都市整理公団総裁、大山顕が司書になり、
団地を建築から見た研究書や団地を舞台にした小説やマンガ etc...を
独自のキュレーションで紹介します。あなたのアンテナに届く本は、どんな「団地」本？

コーディネーター：大山顕（住宅都市整理公団 総裁）
<http://danchidanchi.com/>



会場

とりでアートギャラリー-きらり

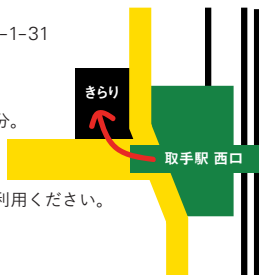
〒302-0024 茨城県取手市新町2-1-31

【電車の場合】

JR取手駅西口改札から
ペDESTリアンデッキで直結、徒歩1分。

【お車の場合】

会場に専用駐車場はございません。
JR取手駅西口近隣の有料駐車場をご利用ください。



問い合わせ先

取手アートプロジェクト実施本部

〒302-0024 茨城県取手市新町2-5-5 ARTOS かも2F
Tel & Fax: 0297-72-0177 [電話は火・金の13:00-17:00]

E-mail: tap-info@toride-ap.gr.jp
Web: <http://www.toride-ap.gr.jp>

TAPとは

取手アートプロジェクト (TAP=Toride Art Project) は、1999年より市民と取手市、
東京芸術大学の三者が共同で行っているアートプロジェクトです。若いアーティスト
たちの創作発表活動を支援し、市民のみなさんに広く芸術とふれあう機会を提供す
ることで、取手が文化都市として発展していくことを目指して活動を続けています。
2010年度から活動形態をソフトし、日常に入り込みながら複数年をかけてヴィジョン
の実現を図るプロジェクト展開を行っています。

■主催

取手アートプロジェクト実行委員会
[取手市/東京芸術大学/アート取手/取手市教育委員会/
取手市商工会/財団法人取手市文化事業団/社
団法人 常総青年会議所/取手美術作家展/特定非営利活
動法人 取手アートプロジェクトオフィス]

茨城県南芸術の門創造会議

[茨城県/取手市/守谷市/取手アートプロジェクト実
行委員会/アーカスプロジェクト実行委員会]

特定非営利活動法人 取手アートプロジェクトオフィス

■協賛

東日本ガス株式会社/株式会社安井建築設計事務所/
財団法人 茨城住宅管理協会/株式会社新六本店/取手
ロータリークラブ

■協力

株式会社Open A/独立行政法人 都市再生機構千葉地域
支社/関東鉄道株式会社/取手井野団地自治会/井野
アーティストヴィレッジ

■認定

公益社団法人企業メセナ協議会

TAPの活動はTAPエンジェルをはじめとして
さまざまな方々に支えられています。

■助成

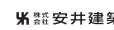
財団法人 文化・芸術による福武地域振興財団
EU・ジャパンフェスト日本委員会

平成24年度 茨城県
新しい公共の場づくりのための提案型モデル支援事業
平成24年度 自治総合センター
コミュニティ助成 地域の芸術環境づくり助成事業
平成24年度 文化庁
地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ



HIGASHINOHON GAS

取手ロータリークラブ



安井建築設計事務所



INO ARTISTS VILLAGE



関東鉄道株式会社 新六本店



文化・芸術による福武地域振興財団

Open A



EU JAPAN fest



TAP Angel

